

横浜の出島関内へ

幕末の頃は外国人居留地帯で、吉田橋関門の内側だったので今は「関内」と呼ばれている出島なさからの地域を歩く。

【集合】午前9時 横浜そごう2F 鐘の広場(横浜駅東口)
 (JR・京急・東急電鉄・相鉄・MM・市営地下鉄、5分)

【コース】～二代目横浜駅～野毛の切通し～吉田橋関門跡～横浜開港資料館～謎の橋前広場～

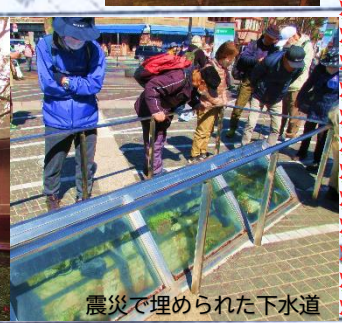
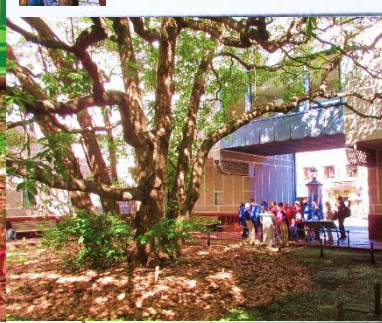
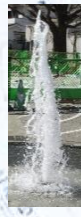
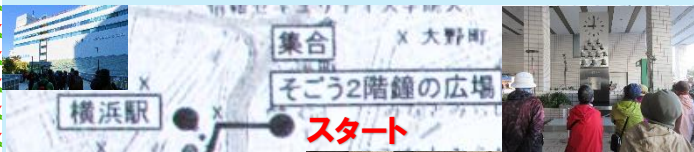
【解散】午後0時頃 石川町駅(JR根岸線)



昭和初め頃の切通し



ペリーによる日米和親条約締結



震災で埋められた下水道



朝方はやや冷え込んだが、日中はポカポカな陽気だった。集合場所のそごう2階の鐘の広場は参加者134名+9名と地図が足りなくなるほどの想定外の集まりで、役員さん大慌てだった(笑)。今日はひな祭りだが、ここ関内はこれといったイベントはなく、去年は歩こう会で「座間神社ひな祭り」に行ったが、階段に並べた雛人形が壮観だったので思い出す。戸部町内会では餅つき大会をやっていたが、ひな祭りとは関係なさそう。「吉田橋関門跡」から「横浜開港資料館」を見学して山下公園から堀沿いを石川町駅までが開港当時の「出島」で、現在は「吉田橋関門跡」の下の堀は首都高速横羽線が通っている。山下埠頭のガンダムは3月一杯で任務を解かれ、何処かに移動になるそうである。春